



みんないっしょに元気に歌う

十一月十二日、洞爺保育所
でお遊戯会が行われました。

この日のために、一生懸命
に練習してきた子ども達は、
元気いっぱいに歌、お遊戯、
劇などを披露し、会場にきた
大勢の両親、おじいちゃんや
おばあちゃんの拍手を浴びて
いました。

会場に集まった皆さんは、
年小、年中組の子ども達のあ
どけなさや、かわいらしさ、
年長組のちよつと大人びた姿
に、目を細めていました。

また、子ども達と一緒に、
英国ボランティア青年のライ
アンさん、スティーブンさん
も参加して英語や日本語の歌
を披露しました。

村の地域振興、地域の安全向上に尽力

洞爺村表彰式



十一月三日文化の日、村の発展に尽くされた方々を讃える平成十七年度洞爺村表彰式が行われました。

式では、菊地村長より「来年三月二十七日に隣接の虻田町との合併により洞爺湖町として新しくスタートすることになりました。」

これからの新しい地域づくりに最も必要なものは、広い

見識と豊かな創造性、そして何よりも郷土の発展を願う心であります。お二人の多大なご功績は愛村精神の賜物であり、豊かな活力ある地域社会を築く行動力が、更に多くの住民に広がっていくものと期待しているとところであります。受賞されましたお二人には、今後ますます村政の各般にわたり一層のご支援、ご協

力を賜りますようお願い申し上げます。式辞が読み上げられ、受賞者の二人に表彰状と記念品が贈られました。また、鍛冶川村議会副議長より「お二人の永年のご経験と日頃のたゆみないご努力により、今回、自治功労、消防功労、社会貢献賞の受賞に結びついた賜物と衷心より敬意

を表し、心からお祝いを申し上げます。今後ともお二人の、ますますのご活躍とご健勝、ご多幸を、ご祈念申し上げます。」と祝辞がありました。

謝辞は、受賞者代表として佐々木村議会議長より「文化の日という大変素晴らしい日に、社会貢献賞という大きな賞を頂きまして身に余る光栄と存しております。今、洞爺村は来年の合併に向けて、色々な協議を進めているところでございますけれども、私どもも残された任期の期間に、この地域に何を残せるかということを、真剣に考え行動していく所存でございます。」と述べられ、表彰式は終了いたしました。

なお、受賞された方は次のとおりです。

【社会貢献賞】

自治功労

佐々木良一さん

成香



村議会議員として十二年以上にあたり住民福祉の向上、地域の振興発展等地方自治の進展に多大な貢献をされました。

消防功労

矢野 克典さん

美沢東



昭和五十年六月一日洞爺消防団入団以来、三十年以上にわたり消防人として、民生の保全に多大な貢献をされました。

菊の花薫る文化の秋



「フラワービーンズ」の皆さんのさわやかなコーラス

最後の「村民文化祭」

十一月三日、主催する洞爺村文化協会（京谷常美会長）はじめ関係者がテークカットを行い、第四十八回洞爺村民文化祭の展示・催し部門が六日まで総合センターで開かれました。



文化祭に寄せられた作品に見入る村民の皆さん

今回は、すべての文化協会加盟団体が参加して、最後の村民文化祭を盛り上げていました。

恒例の菊花や盆栽、華道、文芸、写真など村民の皆さんが思いを込めた作品の数々が展示されたほか、読み聞かせ、人形劇、お茶、囲碁などの催しもが行われ、集まった大人も子どもたちも深まる秋に、洞爺村の文化の香りを楽しんでいました。

また、十一月二十三日には総合センター集会室において芸能発表会が行われました。



親子で楽しんだ「たんぽぽ」の皆さんによる人形劇

バンド演奏を皮切りに、洞爺中学校の吹奏楽、児童のピアノ演奏、舞踊、カラオケ、合唱、よさこいなどバラエティに富んだ芸能が発表されました。会場は、立ち見の方が出る入り込みを見せ、虻田町からの来場者をはじめ、多くの皆さんが熱のこもったステージに、惜しめない拍手を送っていました。



トップで登場した「タイムリミット」の皆さんの歌と演奏

スクールの購入などを原案どおり可決

第六回洞爺村議会臨時会が、十一月十八日に開かれました。会期を一日と決めた後、職員の給与に関する条例の一部改正、スクールの購入などの議案五件が原案どおり可決承認されました。

条例の改正

▽議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

▽洞爺村長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

▽教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

▽職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

以上の四件については、人

事院勧告及び他市町村の対応を総合的に判断し、村議会議員、村長等の期末手当の見直し、職員の給料月額、配偶者扶養手当、勤勉手当の見直しを行いました。

財産の取得

▽財産の取得について

新設される小学校へ通学するためのスクールバス一台の購入が認められました。

新規事業、合併の取り組み状況などを説明

秋の自治会長会議

十一月二十二日、ふれ愛センターにおいて秋の自治会長会議が行われました。

はじめに、菊地村長より挨拶があり、「国土交通省所管の街づくり交付金事業の採択がほぼ決定し、事業費は六億五千万円、平成十八年度から五年間の事業として行われる予定となっております。」また、「永年の懸案となっていた洞



表彰を受ける篠原第3自治会長

爺市街地区間の改良についても交通安全設備整備事業として、市街地湖側の歩道整備を来年度事業着工の予算化がされたと室蘭土木現業所より聞いております。」さらに、「道道洞爺蛇田線については提案型の陳情ということで膨大な資料をつくり、室蘭土木現業所、北海道に陳情いたしました。北海道、室蘭土木現業所出張所とともに、前向きに検討する。」との回答を頂くなど、合併後の洞爺地区活性化、振興に向けた主要事業について報告しました。

会議に先立ち、村長より、第三自治会の篠原和郎さんに對して、村の表彰規則に基づき、自治会長としての多年にわたる活動実績を称える感謝状が送られました。

会議では、村側から、主要工事の進捗状況、洞爺水の駅周辺街づくり交付金事業、蛇



会議に取り組む自治会長の皆さん

田町との合併に関する取り組み状況、小学校統合の経過及び校舎の増改修工事などについて説明を行いました。



懇親会で一人ずつ名前を呼ばれ紹介される



懇親会での記念撮影



財田町役場での記念撮影



みかん狩り

民間交流ツアー（財田町訪問）を終えて

財田町との姉妹町村盟約三十周年を記念する交流事業の最後として、民間交流ツアー（十一月十二日から十五日までの三泊四日）の一行、四十五名が財田町を訪問し、友好を深めてきました。

初日は、春を思わせる暖かい陽気に包まれた高松空港に降り立ち、財田町の安藤助役さん、山崎総務課長さんのお出迎えを受けた後、瀬戸大橋の与島プラザなどの観光施設

を案内していただき、夕方に財田町「たからだの里環の湯川船楼」に到着しました。

到着後まもなく歓迎の懇親会が開催され、近藤町長さん、渡辺議長さんから歓迎のお言葉をいただいたのに続き、ツアー参加者を代表して団長を務める杉上助役からお礼の言葉が述べられました。

懇親会は、財田町の皆さんの暖かいおもてなしを受け、和やかな雰囲気の中進められ、

参加者一同、楽しい一時を過ごさせていただきました。

翌十三日は前日に引き続きポカポカの陽気の中、役場など財田町内の施設見学を行ったほか、オレンジ色に染まった山での「みかん狩り」など、北海道では味わうことのできない体験をしました。

財田町の皆さんとは三十年というお付き合いをさせていただいていることから、旧交を温めておられた方、また、

民生委員の方々や梅漬同好会の皆さんは、それぞれ財田町の民生委員さんや農産物加工グループの皆さんとの交流を深めていました。

さらに、このたび初めて財田町を訪問された方も、財田町の皆さんの温かいお心づかいに触れ感激の様子で、参加者それぞれに友好を深め、心に残る財田町訪問となりました。

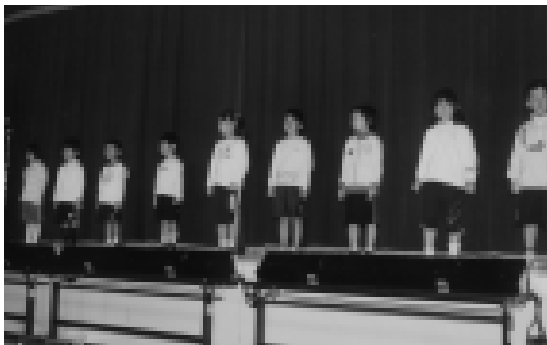
学芸会、学習発表会、各小学校で開催



力強く和太鼓の音色が響く（大原小学校）

冬の迫った十一月十九・二十日には、各小学校で最後の学芸会、学習発表会が相次いで行われました。

村内の小学校では今年が最後の学芸会となるため、洞爺小学校では「洞爺小学学習発表会、みんなの笑顔輝くラストステージ」、香川小学校では「ひとつになって どうどうと みんなで たのしむ 学芸会」、成香小学校では「みんなスターだ！成香っ子 がんばれ



一年生がハキハキと開会の言葉（洞爺小学校）

ばれ さいごの発表会、大原小学校では「大原小最後！みんながんばる学芸会」とそれぞれのテーマやスローガンを掲げ、日頃の学習や練習の成果を元気に発表したり、歌や劇、器楽などにはつらつと取り組み、集まった大勢の父母や地域の皆さんを喜ばせ、大きな拍手を浴びていました。

大原小学校の学芸会では、さくら保育所幼児の遊戯や洞爺中学校吹奏楽、大原小学校PTAや大原女性部などの劇器楽、合唱やバザーなど地域



しっかりと劇のクラス発表を行う（香川小学校）



息の合った器楽演奏（成香小学校）

ぐるみの取り組みが行われました。



記念碑前であいさつする閉校記念実行委員会の村上会長

十一月十九日成香小学校では学習発表会終了後、閉校記念碑の除幕式が、在校児童やPTA、地域住民の皆さんなど関係者が集まり、行われました。

記念碑はグラウンドの角に高さ約二〇、幅約二・五の御影石で建立され、正面には

閉校記念碑除幕式

成香小学校で

「母校に感謝」として、明治三十一年私塾として始まって以来の沿革が、裏面に校歌、校章が刻まれています。

建立を担当した閉校記念実行委員会の村上正敏会長が、関係者により除幕された記念碑について「明治以来、学校を支えてくれたすべての方々に對する感謝の気持ちを込めました。」とあいさつし、児童たちが自ら育てたヒマワリの種を添えた風船を、花を咲かせてと願って空に放ち、式を終えました。

なお同日、学習発表会に合わせて同校にまつわる昔からの写真アルバムを並べたコーナーが設けられ、地域の皆さんは、懐かしそうに見入っていました。

ビエンナーレ受賞作品等展示

洞爺水の駅二階

洞爺村国際彫刻ビエンナーレ2005は、総合センター

人の入場者を記録し、終了しました。

を会場に九月二十三日から十月二十三日まで開かれ、関係機関、関係者の皆さんの協力により、過去最高の四〇七七

その後、さらに多くの皆さんに作品を鑑賞していただくこと、十二月二十日頃まで洞爺水の駅二階の展示

室において、今回のビエンナーレ受賞作品、過去のビエンナーレF氏賞受賞作品及び写真家並河萬里氏の写真が展示されています。

この機会に、ビエンナーレ展覧会を見逃してしまった村民の皆さんや洞爺村を訪れる観光客の皆さんに、優れた作品をぜひご覧いただきたいと思います。



来村されたお客さんがビエンナーレ作品に見入る

街中のプランターの

片付けボランティア

洞爺村花いっぱい運動推進協議会（鈴木孝会長・事務局

に設置して、住民や観光客の皆さんに好評でした。

洞爺村教育委員会）では、市街地に花壇が少ないため、今年六月にボランティアの皆さんで大型のプランターを街中

同協議会では、冬が近づいたことから十一月六日午前九時半から洞爺水の駅前を中心に設置されたプランターの片付けを、ボランティアを募って実施しました。

呼びかけに応えて集まったボランティア十名の皆さんは、プランターの花を抜き、土をスコップで袋詰めして、空になったプランターを手

際よく次々と片付け心地よい汗を流していました。

今後も、美しい地域づくりのため、花壇の設置や片付け作業には皆さんのご協力をよろしく願います。



プランター内の土を取り除くボランティアの皆さん

洞爺健康館増築記念

歌のプレゼント

十一月一日、㈱玄米酵素洞爺健康館の増築を記念して、同社と洞爺村、洞爺村教育委員会が共催して童謡と歌謡コンサートが、総合センター集会所を会場に行われました。

同社の岩崎輝明社長のあいさつと食事道についての



大庭照子さんほか三人が見事なハーモニーで歌う

話の後、NHKみんなのうた（昭和四十五年）で「小さな木の実」などを歌い、好評を博した大庭照子さんのコンサートが行われました。

大庭さんは、日本固有の音楽文化「童謡」の継承と普及を図るため、九州阿蘇郡久木野村に「日本国際童謡館」を設立し、館長を務められています。

会場には、保育所幼児を含む大勢の村民の皆さんが集まり、大庭さんと童謡組の童謡や歌謡曲の美しく豊かな歌声に、惜しみない拍手を送っていました。

「月光の湖」が特選受賞

洞爺村フォトコンテスト

十一月十六日、洞爺観光協会主催で行われた「洞爺村フォトコンテスト」の表彰式が行われました。

このコンテストは、アマチュアを対象に、洞爺村の四季折々の風景写真、祭事、花、鳥などの写真を村内外から募って行われ、連続開催では五回目となり、遠くは神奈川県からの応募もありました。表彰式では、観光協会会長



特選を受賞した小野廣さん

の高橋利典さんが「年々、作品は進歩しているように思います。洞爺の自然、癒しなどの良さが色々な形となって表現されている。」とあいさつを述べました。

また、今回の選考にあったて、企画部長の村上隆昭さんから「今回の応募では規格外のA4サイズの応募があったが審査対象とした。審査員は素人四人が審査を行い、自分



平成17年度 受賞者

	作品名	作者	住所
特選	月光の湖	小野 廣	洞爺村
準特選	陽光	近藤 信竹	札幌市
準特選	また来たい浮見堂	荻田 勲	江別市
入選	洞爺の春景	安達 克雄	神奈川県
入選	秋	安達 京子	洞爺村
入選	カヌーと白鳥	安達 紀明	洞爺村
入選	湖畔の夜明け	伊東 順好	伊達市
入選	静寂	小野 政子	洞爺村

の家に飾りたい、人にあげたいと思う写真を三、四つ挙げて、絞り込んだ。」との説明がありました。

特選には、村内の小野廣さんの作品「月光の湖」が選ばれ、準特選には、札幌市の近藤信竹さん、江別市の荻田勲さんの作品がそれぞれ選ばれました。

受賞者は、次のとおりです。

俳優デビュー？

ドラマ撮影

十一月九日、中央公園棧橋で土曜ワイド劇場「トワイライトエクスプレス」殺人事件のドラマ撮影が行われました。

このドラマ撮影について、東映よりエキストラの協力依頼があり、洞爺村の観光ビートルの一環となることから協力をすることになり、伝建設社員、観光協会職員、役場職員など約二十名が参加しました。

また、撮影は九日から十二日にかけて洞爺村ほか、虻田町、壮瞥町など洞爺湖周辺で行われました。

撮影されたドラマは、二〇〇六年一月七日土曜日に放送予定となっております。



撮影準備をするスタッフ

かんたん炭焼き

財田自然体験ハウス

売られているような木炭を作るのは、道具や時間、経験が必要ですが、手軽な「お花炭」を作る体験が、十一月十九日午後一時から、村民や近隣住民の皆さん八名が参加して行われました。

お花炭は、木の実、花、葉、枝、果物などを炭化させて作る炭の一種で、素材をそのままの形で炭にしようとするもので、昔から茶の湯の世界や茶室で飾り物などとして使われているということです。

栗やドングリの実、栗のイガ、小枝などをアルミホイルでくるみ、蓋に釘で穴を開けた缶に入れて、穴から煙が出る間、約三十分火にかけます。煙が出なくなったら穴を釘でふさぎ、火からおろして缶がさめると、アルミホイルの中で炭が出来上がりました。

参加した皆さんは、素材の形そのままに出来上がったお花炭に満足した様子でした。



外で火を起こし、炭づくりに取り組む



出来あがった炭を確認する皆さん

秋の叙勲・褒章

秋の叙勲で洞爺村から
二名の方が、瑞宝双光章
を受章されました。

【瑞宝双光章】

▽地方自治功労

岩渕義勝さん

83歳

6町内

元洞爺村助役

瑞宝双光章は、国や社
会にたいして長年多大な
功績を残された方に贈ら
れるもので、これまでの
功績が認められ、今回の
受章となりました。
受章者は、次のとおり
です。



▽法務行政事務功労

野村 裕さん

75歳

美沢東

元札幌法務局総務管理官



いぶき
以西 生芽くん

☆平成17年5月24日生まれ
☆長男 ☆成香

お父さん お母さん
隆一さん 水音さん

字画と自由に芽生えるという
意味を込めて名付けました。

たくましく元気に育って
ほしいと願っています。

おかあさんからひとこと



元気な子に育ってください。



はやと
近藤 勇人くん

☆平成17年5月24日生まれ
☆長男 ☆3町内

お父さん お母さん
一也さん 好枝さん

勇ましく育ってほしいという
思いを込めて名付けまし
た。

おかあさんからひとこと



明るく元気に育ってもらいた
いと思っています。

成績

よくがんばりました

村内親善卓球大会

十一月十八日、洞爺中学校
体育館で、平成十七年度村内
親善卓球大会が行われました。
参加人数は十名、ダブルス
五チームによるリーグ戦で優
勝が競われました。
結果は、次のとおりです。

【二位】

宮武 晃、小針美希組

【三位】

上野雄太、小山ちよ子組

泉 豊治、久保田トヨ子組

おくやみ

申し上げます

小池 鎮穆さん

10月25日死去

77歳
温泉病院

橋喜三郎さん

10月31日死去

89歳
6町内

橋 英一さん

11月3日死去

82歳
川 東

村上 大地さん

11月10日死去

4歳
成 香

大廣 智さん

11月15日死去

58歳
香 川